



# SHELL SEAT BAG 2 SS/MT/GT

## シェルシートバッグ 2 SS/MT/GT <取扱説明書>

- この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
- この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。
- ※本体イラストは MT を使用しています。

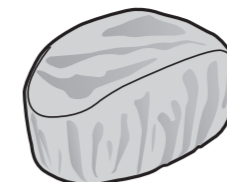
### ●部品構成



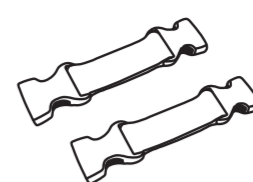
●本体※



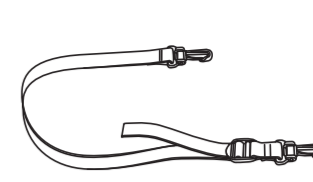
●Kシステムベルト T20



●レインカバー



●接続バックル×2



●セフティベルト

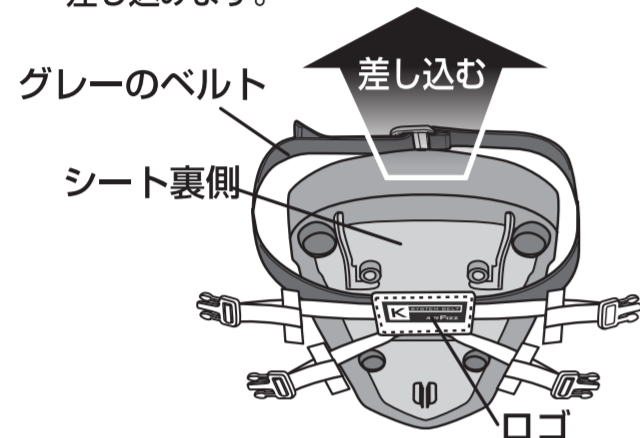


●取扱説明書

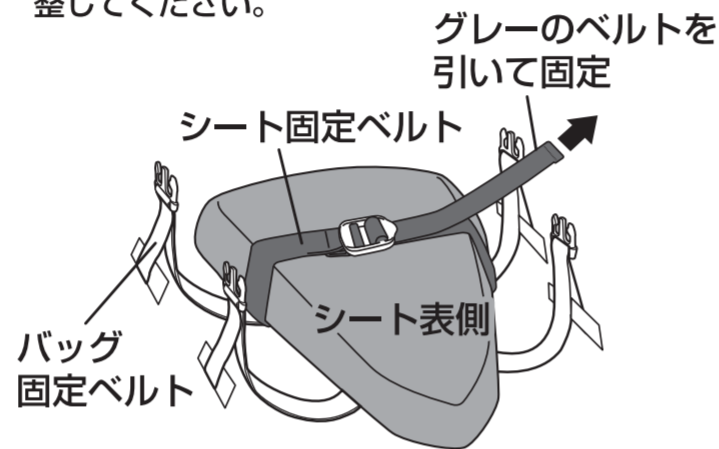
### ●バイクへの取り付け方法

#### シートへの取り付け《 KシステムベルトT20を使用 》

**1** シートを取り外し、Kシステムベルトを図のようにシート裏側でロゴが見えるようにして位置を決め、シートの突起を避けながらグレーのベルトにシートを差し込みます。



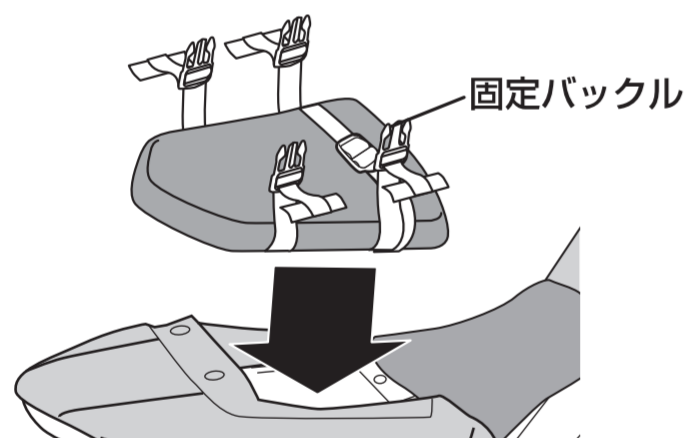
**2** シート表側でグレーのベルトのバックルをしっかり引いてシートに固定してください。グレーのベルトは回転移動できますので、ベルトを引きやすい位置に調整してください。



**△ 注意** バックルの裏表を間違えると装着できません。

**△ 注意** ベルトがしっかり固定されていないとベルトがずれて安定しません。

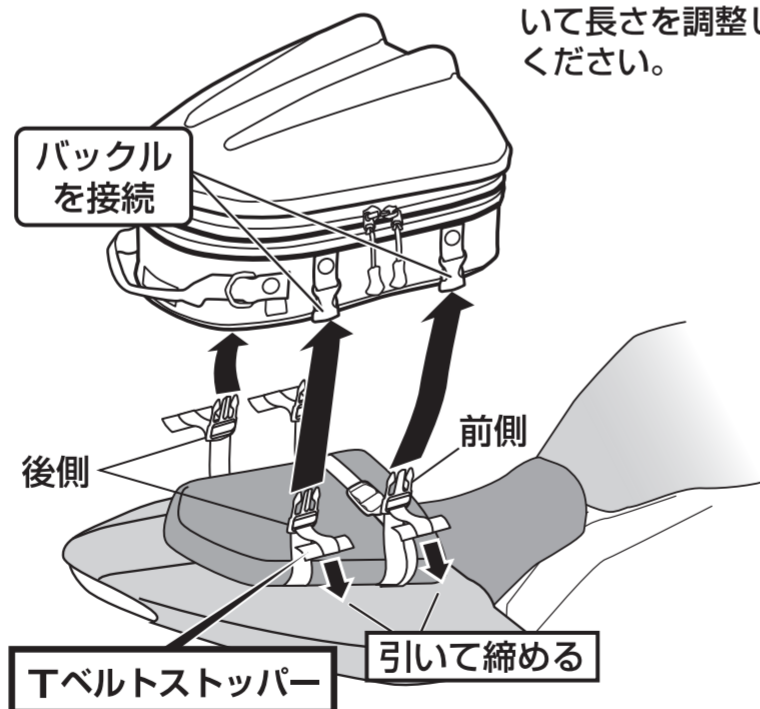
**3** シートを戻し、しっかりと車体に固定させます。(この時に固定用のバックルのついた4本のベルトをシートの外へ上向きになるように出してください。)



**△ 警告** ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないようご注意ください。

**△ 注意** ベルトがねじれてバックルの向きが変わると固定できません。ベルトがねじれて挟まれていないか確認して、シートを戻してください。

**4** バッグのバックルにKシステムベルトのバックルを差し込み固定します。不安定にならないように先に前側左右のバックルを同時に引いて適度なテンションにベルトの長さを調整し、次に後側の左右バックルを同時に引いて長さを調整してください。



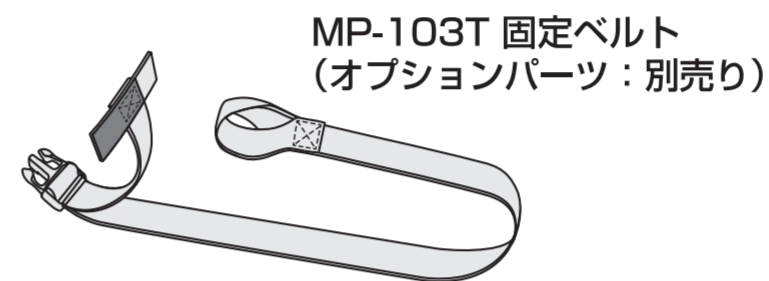
#### △ 取り付けの注意

- シート・テールカウル・ウィンカーの形状等により、本製品を装着できない場合があります。事前に取り付け車両の形状を良くご確認ください。
- バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取り付け位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。
- 走行による振動等で固定ベルト等は緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート:別売り)等でその部分を保護する事をお勧めします。
- 継続する高温には対応していません。エンジン・マフラー等、車体の熱くなる部分には触れる事のない様に装着してください。
- バッグやKシステムベルトを長時間シートに取り付けた状態ですと、色移りする事がございます。特に暑い夏場等は適宜取り外してください。
- 固定ベルト等に傷やほつれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。(補修パーツリスト参照)

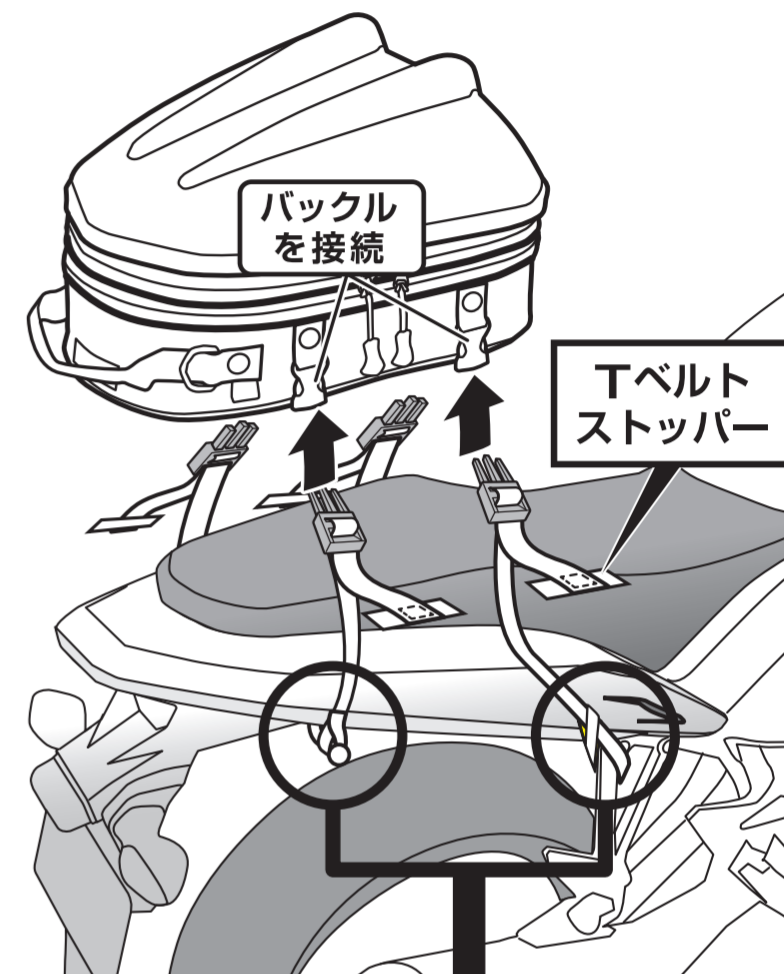
#### 車体への取り付け《 固定ベルト(別売り)を使用 》

※シートへの取り付けが難しい場合や車体にベルトで取り付けたい場合に使用します。

**1** 固定ベルト(別売り)のループを使用して右図を参考にバイクに取り付けます。



**2** 固定ベルトを車体に繋がたらバックルを本体のバックルに接続します。前後左右が均等になるようにベルトの長さを締めて調整します。



- △ 注意**
- バックルの裏表を間違えると装着できません。
  - 車体の温度が高い部分(エンジン・マフラー・排気煙等)にベルト、バックル、バッグ等が触れると溶ける場合があります。
  - 「Kシステムベルト」と「固定ベルト」の併用は出来ません。

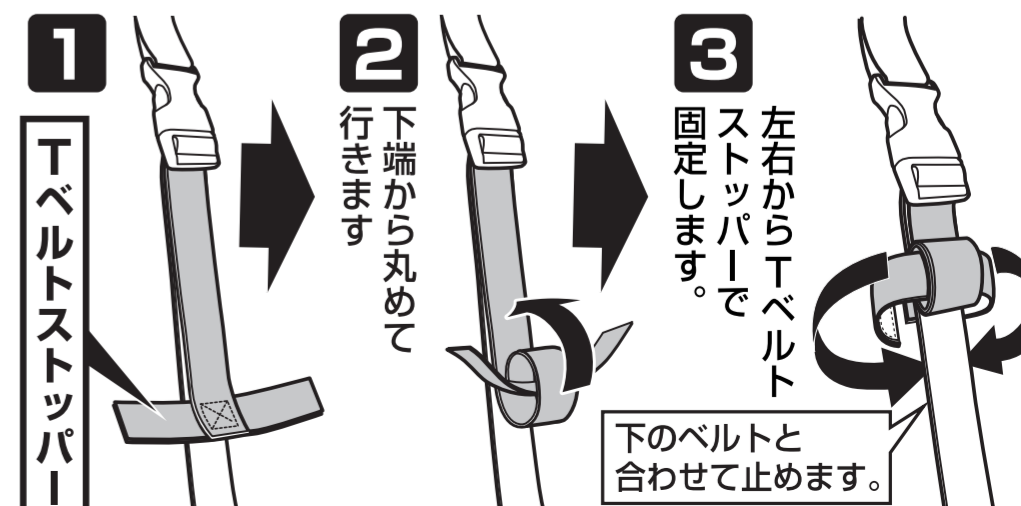
- △ 注意**
- 固定ベルトの取り回しは、ホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないようにしてください。
  - 余ったベルトはホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないように後処理してください。
  - 取り付け後、及び乗車の前には必ず、安全な運転に支障がないか確認してください。
  - 上記の取り付け方を守らない場合、転倒等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

**●固定ベルトのループ使用例**

- 荷掛けフック
- 車両フレーム
- ベルトタイプ荷掛けフック

#### ●Tベルトストッパーの使用法

ベルト調整後、余ったベルトはTベルトストッパーでまとめます。

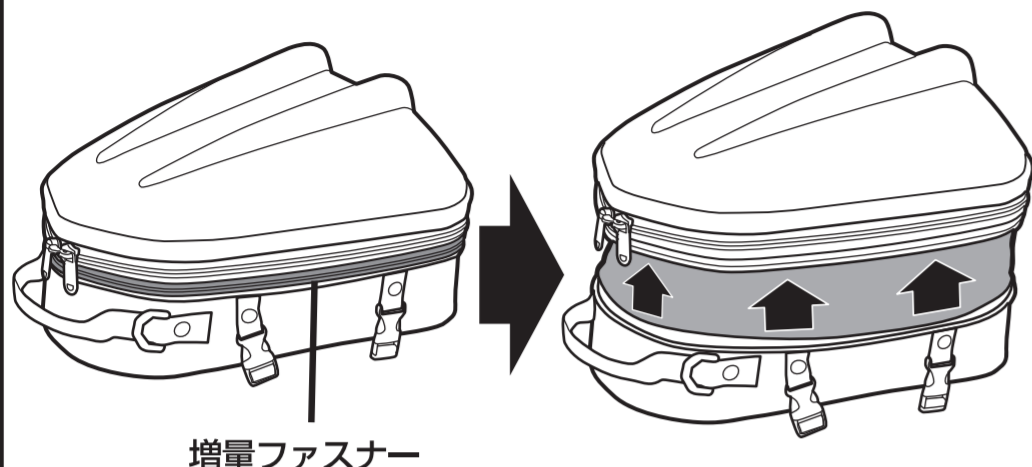




## バッグの使用方法

### 簡単容量可変 (MT・GT 対応)

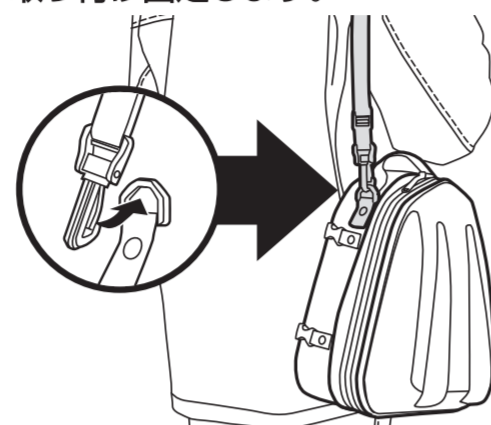
増量ファスナーを開けることで素早く容量がアップします。



増量ファスナー

### ショルダーベルト用のセフティベルトの使用方法

バッグのDリングにセフティベルトを取り付け固定します。



**△ 注意** オートバイ装着時は必ず取り外してください。

### レインカバーの装着方法

付属のレインカバーをバッグに被せ、コードストッパーを絞り装着します。

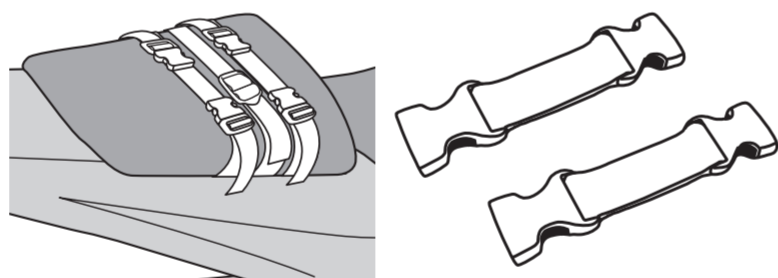
**△ 警告** 余ったドロコードはホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないように後処理してください。

**△ 注意** ●レインカバーは完全防水ではありません。バッグ内の荷物をビニール袋に入れるなどの対策をしてください。  
●走行風によるレインカバーのたたつきは市販のコード又はモトフィズキャリングコード等で固定してください。



### 接続バックルの使用方法

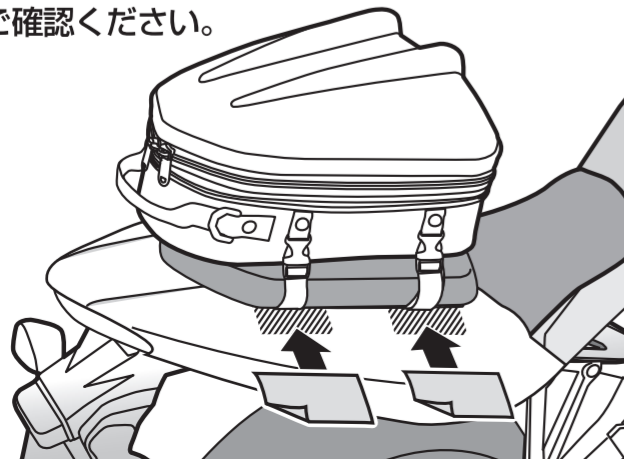
バッグを取り外した後のKシステムベルトは接続バックルで、車体に取り付けておく事が可能です。



## オプションパーツ(別売り)の使用方法

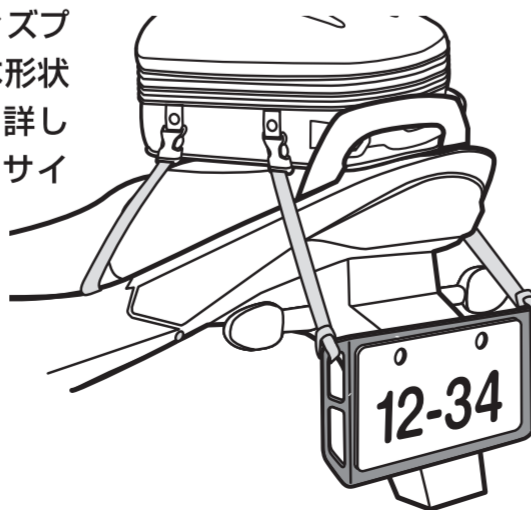
### ●プロテクターシート

バッグやベルトの接触面に貼る事で車体の傷付きを予防します。モトフィズプロテクターシートは貼り付け場所により様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。



### ●プレートフックシリーズ

バイク後部に荷掛けフックが無い車両でもプレートフックを使用する事で、固定ベルトをより簡単に確実に装着することが出来ます。モトフィズプレートフックは様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックス Web サイトでご確認ください。



## 補修パーツ(消耗品パーツ)のご案内

お求めはお近くの「モトフィズ」取扱店にてご注文ください。

部品番号	名称	セット数
MP-105	接続バックル	1個
MP-302T	Kシステムベルト T20	1本
MP-306	レインカバー シェルシートバッグ2 SS用	1個
MP-307	レインカバー シェルシートバッグ2 MT用	1個
MP-308	レインカバー シェルシートバッグ2 GT用	1個
MF-4521	セフティベルト	1本
●オプション MP-103T	固定ベルト	1本
●オプション MF-4745	プロテクターシート エッジ	5枚
●オプション MF-4746	プロテクターシート フラット	5枚
●オプション MF-4747	プロテクターシート ワイド	2枚
●オプション MF-4748	プロテクターシート シートバッグセット	エッジ5枚/フラット5枚
●オプション MF-4680	プロテクターシート	1枚
●オプション MF-4682	プロテクターシート セット	1セット
●オプション MF-4684	プロテクターシート ロール	1枚
●オプション MF-4729	プレートフック3	1個

## △ 使用上の注意

- 法定速度以上で使用しないでください。
- 最大積載量(SS:3.0 kg /MT:4.0 kg /GT:5.0 kg)を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお控えください。
- 走行による振動等でKシステムベルトや固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。
- 角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等で包んで収納してください。
- 携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は火災の原因になりますので、収納しないでください。
- 林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。
- バッグは生地や縫製方法など通常使用での耐久性は十分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。
- 内装生地ファスナーは製造時に構造体を挿入したり修理する場合に使用する為のもので、スライダーのつまみは付いておりません。お客様による内装生地ファスナーの開閉は故障の原因となりますので行わないでください。
- 寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予めご了承ください。
- 仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
- 取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

## 保管とお手入れの方法

- 表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
- 雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
- 保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。

## △ 注意

ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。



## タナックス株式会社

千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7  
〒270-0128 TEL: 04-7150-2450

## TANAX CORPORATION

3-5-7, OTAKANOMORINISHI, NAGAREYAMA-SHI,  
CHIBA 270-0128, JAPAN  
TEL: +81-4-7150-2450

TANAX WEB サイトへ  
簡単アクセス!

<https://www.tanax.co.jp>

